

6年 「わかって楽しいね」～学習意欲を高める実践を通して～

〈ねらい〉

本学年の子どもは、どうしたら解けるだろうかと疑問をもちながら、課題に取り組むことができます。しかし一方では、解き方の見通しがもてず、手が止まってしまったり、間違っているのではないかという不安から自信をもてなかつたりする子どもも少なくありません。そこで、前期は、ICTを活用して一人一人が自分なりの考えをもてるような工夫を行います。そうすることで、子どもの学習意欲を高めていきたいと考えました。そして、互いに学び合いながら、「わかった！」という課題を解決する喜びを味わえるようにしていきます。

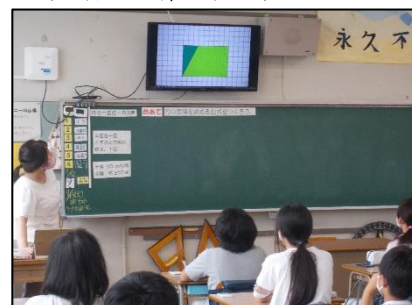
〈活動の様子〉

算数科「円の面積」の単元では、円の面積の公式を考える活動を行いました。

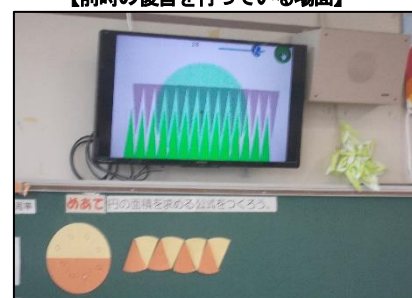
最初に、既習内容の復習として、平行四辺形の面積の公式について学習しました。公式を考える際、どのように考えたのかアニメーションを活用して、視覚的に思い出すことで、本時の見通しをもつとともに、課題に対しての興味や関心を高めることができました。

次に、円の面積の公式を考える活動を行いました。アニメーションで、円を細かく分割し、図形を変形させると、「あっ、長方形になった。」「これで面積が出せそう。」と、既習の公式を使い、円の面積を求めることができることに気がきました。動画を用いて視覚的に示したことで、子どもの理解度が増し、一人一人が課題に対して意欲的に取り組むことができました。

後期には、子ども一人一人にタブレットが導入されます。今後は、ICTをいろいろな科目、いろいろな場面で活用し、子どもの学習意欲や理解度をさらに高めていきたいと思えます。



【前時の復習を行っている場面】



【円の変形を動画で提示している場面】